



えんだより

令和8年1月
旗川幼稚園



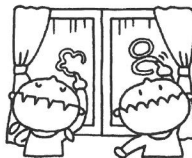
今年もよろしくお願いします。

「何でもうまくいく」そんな年にしたいですね。

さて、恒例となった始業式の私との約束ですが、3学期は、「みんなと仲良くする」にしました。クラスの友達だけではなく、先生も含め、卒園するつきぐみさんから1歳児クラスのりすぐみさんまで、園にいる全員に関心を持ち、仲良くなしてほしいという願いを込めて。また、たくさんの思い出を胸に進級してほしいという願いも込めて。

仲良くするためには、相手を知り、思いやることが必要になってきます。「この子のここが好きだから一緒に遊びたい」「ここは嫌だけど一緒にいると面白いから好き」など、人のかかわりの中でしか味わえない感情も出てきます。時にはぶつかり合うことも必要です。自分の意見を言ったり友達の意見を受け入れたりしながら仲良くなっていきます。会話力も必要です。この約束の中にはたくさんの意味が含まれています。

一人一人の成長を感じながら友達関係をサポートし、進級・進学を控えたこの時期を、今年度のまとめとして大切に過ごしていきたいと思います。



幼稚園評価についてお願い

ご回答いただきありがとうございます。現在回答率が62%となっております。皆様のご意見をお聞きたいので、回答期限を27日(火)まで延長します。ご協力をよろしくお願いします。



ふれあいの日 23日(金)～

今年度最後の参観日となりますのでお忙しいことと思いますが、ご協力をよろしくお願いします。

りすぐみ 体操教室の諏訪先生と一緒に親子で体を動かして遊びます。担任以外の先生とかかわる時の表情にも注目しながら親子の時間を楽しんでください。

うさぎぐみ 親子でふれあい遊びを行います。また、2年目となったクラスの様子、友達とのかかわりなども遊びを通して見られると思いますのでお楽しみに。

ひよこぐみ クラスでの活動になります。3人の関係性や先生とのかかわりを見ていただけたらと思います。親子で相談して素敵な鬼のお面を作ってくださいね。

はとぐみ 親子でふれあい遊びを行います。力が強くなり様々な動きができるようになった姿や、友達との会話、遊ぶ様子などもご覧ください。

ももぐみ 体操教室での動きや、口頭での指示を理解して動こうとする様子をご覧ください。諏訪先生との関わりの中でたくましく成長した姿が見られるでしょう。

つきぐみ できるようになったことをたくさん披露します。ぜひ個々の頑張りに目を向けてください。結果ではなく過程が大事だということを感じてほしいです。

R7年度 職員自己評価の結果

R7.1.13実施

評価結果について

令和7年度の自己評価を行いました。結果は次の通りです。

◆評価の基準

- A できた。
- B 努力したが不十分だった。
- C できなかった。
- ★ 次年度の課題

保育は、すぐに結果が出るものではありません。できるようにしなければと結果を求めようと、子どもたちに無理な要求をすることが増えてしまいます。目の前にいる子どもたちと常に向き合う中で、日々下記のようなことを意識しながら保育することが、大切なことだと考えています。「努力したが不十分だった」「できなかった」ことにつきましては、個人が次年度の課題として掲げていますので、さらに保育の質が上がるよう職員一同努力していきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

1 幼児の保育に関する評価項目		
(1)計画		
① 園の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の計画を構造的に作成している。	A 73 % B 27 % C 0 %	★
② 個々の幼児の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。	A 73 % B 18 % C 9 %	★
③ 日々の記録をとり、自ら反省・検討するとともに教員間での話し合い、次の指導計画に生かしている。	A 91 % B 9 % C 0 %	
④ チーム保育の場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。	A 91 % B 0 % C 9 %	
(2)環境の設定		
① 幼児の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。	A 64 % B 36 % C 0 %	★
② 幼児の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成できる。	A 82 % B 18 % C 0 %	★
(3)保育の在り方、幼児への対応		
① 園内に危険な箇所がないか、遊びはないか、活動が年齢や能力に対して危険ではないかなどを常に観察している。	A 82 % B 18 % C 0 %	★

② 個々の幼児の特性を理解し、幼児同士の関係を的確に把握している。	A 91 % B 9 % C 0 %
③ 個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。	A 82 % B 18 % C 0 %
④ 幼児と共に動き、活動することを心から楽しむことができる。	A 100 % B 0 % C 0 %
⑤ 幼児のことについて常に教員同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している。	A 82 % B 18 % C 0 %
⑥ 支援児の特性を理解しかかわる中で担当教諭の指導に関心を持ち、情報を共有しようと努めている。	A 91 % B 9 % C 0 %
2 教師としての資質・能力・良識・適性	
(1)専門家としての能力・義務	
① 幼児や教育に関する情報を絶えずとらえようとしている。また、より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している。	A 73 % B 27 % C 0 %
② 仕事の手順を考え、効率よくおこなっている。また、締め切りのある仕事や提出物は締め切り日をきちんと守っている。	A 64 % B 9 % C 27 %
	★
(2)組織の一員としての在り方	
① 職員会議では他の意見を素直な気持ちで聞いたり、意見を述べたりすることができる。	A 73 % B 27 % C 0 %

② 子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、相談をしている。	A 100 % B 0 % C 0 %
(3)保育の喜び	
① 幼児と会話をしたり遊んだりすることが好きであり、ささやかな成長を理解しそれを喜ぶことができる。	A 100 % B 0 % C 0 %
3 保護者への対応・地域とのかかわり	
(1)情報発信	
① 幼児のことや自分の保育のことを、分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係を作ることに努めている。	A 91 % B 9 % C 0 %
② クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりなどで知らせている。	A 82 % B 9 % C 9 %
	★
(2)地域とのかかわり	
① 地域の人々と親しく挨拶をしたり、地域の自然に関心をもち保育に取り入れたりしている。	A 82 % B 18 % C 0 %
(3)小学校との連携	
① 小学校の教育内容について理解しようとし、卒園した子どもの情報を得るようにしている。	A 82 % B 9 % C 9 %